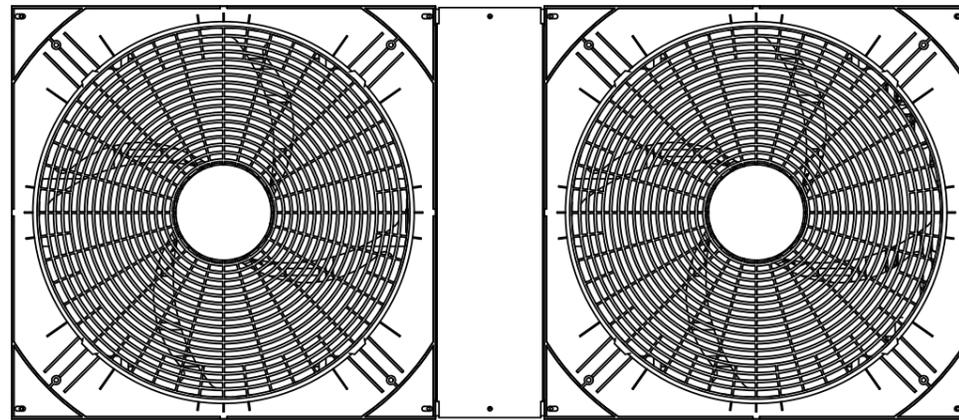


MCF-K80NU (-SL)

品番	MCF-K80NU (-SL)		
電源	3相 200 V 50 Hz / 60 Hz		
使用冷媒	R448A / R449A / R407H		
使用周囲温度	-5 °C ~ +43 °C		
凝縮器	形状	スリットフィンチューブ	
	ファンモーター	モーター型式	EE0Q-0TV-P2 × 2
		極数	6P
		出力	150W × 2
		巻線保護	135 °C OFF、70 °C ON (2相切)
	ファン径	Φ500 mm × 2	
	凝縮圧力制御	方式	マイコンデジタルデューティ制御
		コントローラー	SPK-ECF135
センサー (外気)		KTEC-35 (0 °C ~ 40 °Cで16 kΩ ~ 2.7 kΩ) [オプション]	
センサー (凝縮)		KTEC-35 (0 °C ~ 40 °Cで16 kΩ ~ 2.7 kΩ)	
配管接続径	ガス入口	φ25.4 mm (外径溶接)	
	液出口	φ19.05 mm (外径溶接)	
外形寸法	高さ × 幅 × 奥行 1,063 mm × 1,350 mm × 583 mm		
フィンガード	SPK-GA4004 (オプション)		
質量	107 kg		
配線容量	配線の太さ	50 m 以内	
	上表の値はコンデンサーユニット周囲温度32 °Cで、電線雰囲気温度40 °C以下、電線の種類は600Vビニール絶縁電線		
標準性能	周囲温度	32 °C	
	蒸発温度	-10 °C	
	入力	50 Hz	500 W [全速運転時 : 530 W]
		60 Hz	620 W [全速運転時 : 750 W]
	運転電流	50 Hz	2.4 A [全速運転時 : 2.0 A]
		60 Hz	2.6 A [全速運転時 : 2.5 A]
	力率	50 Hz	60 % [全速運転時 : 75 %]
		60 Hz	69 % [全速運転時 : 84 %]
	ファン風量	50 Hz	8,610 m ³ /h (870 min ⁻¹)
		60 Hz	9,500 m ³ /h (950 min ⁻¹)
	回転数	50 Hz	740 min ⁻¹ [全速運転時 : 870 min ⁻¹]
		60 Hz	810 min ⁻¹ [全速運転時 : 950 min ⁻¹]
	始動電流	50 Hz	5.8 A
		60 Hz	5.4 A
騒音	50 Hz	52.0 dB(A)	
	60 Hz	53.0 dB(A)	

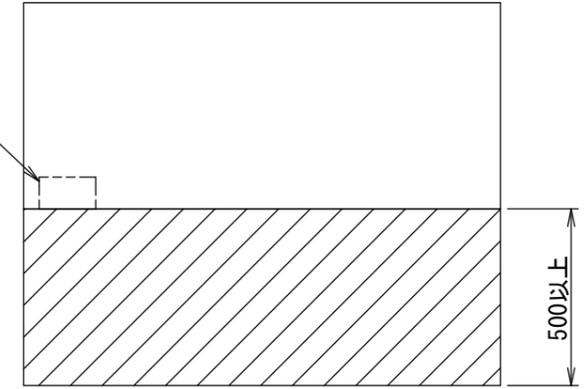
- 注1. (-SL)は、JRA耐重塩害仕様品です。
 2. D種接地工事を行ってください。
 3. 標準性能はファンコントローラの凝縮圧力設定「低」モード時の値です。
 4. 騒音はマイクロホン位置が製品正面1m×1mで、ファンコントローラの凝縮圧力設定「高」モード時の値です。
 5. R448A/R449A/R407Hは温度グライドを有する非共沸冷媒であり、定格性能測定時の蒸発温度は露点方式を採用しています。

MCF-K80NU(-SL)

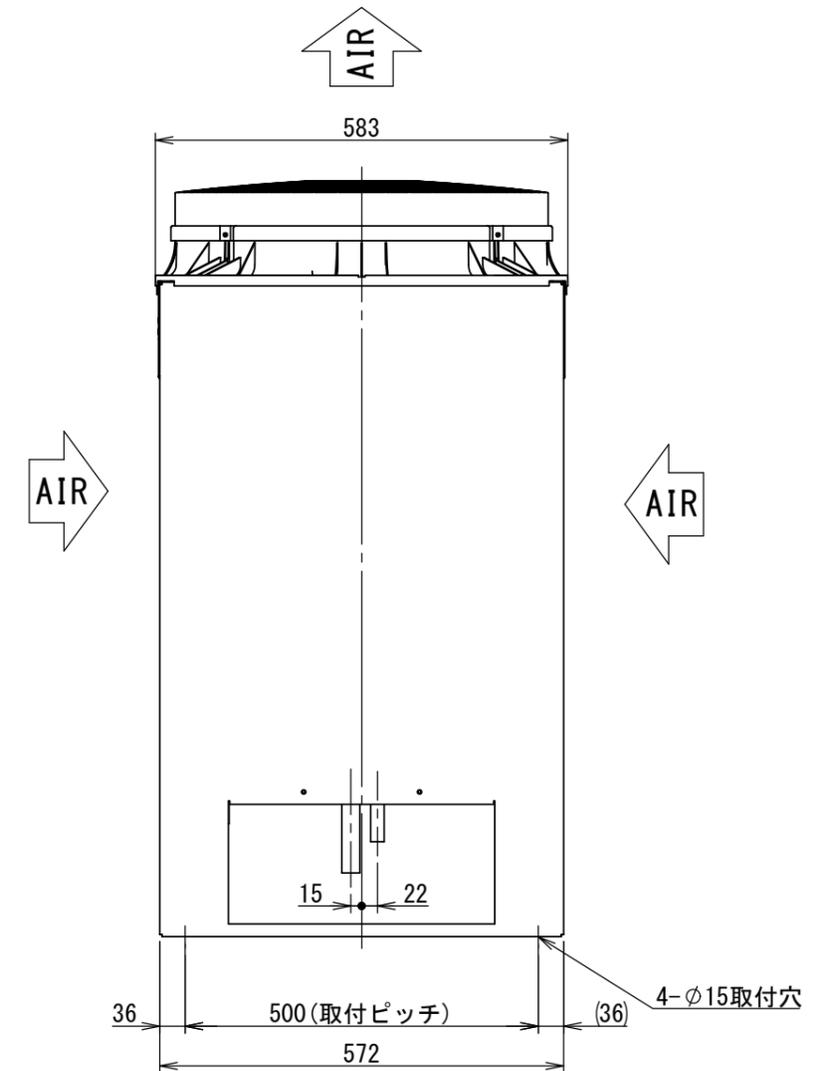
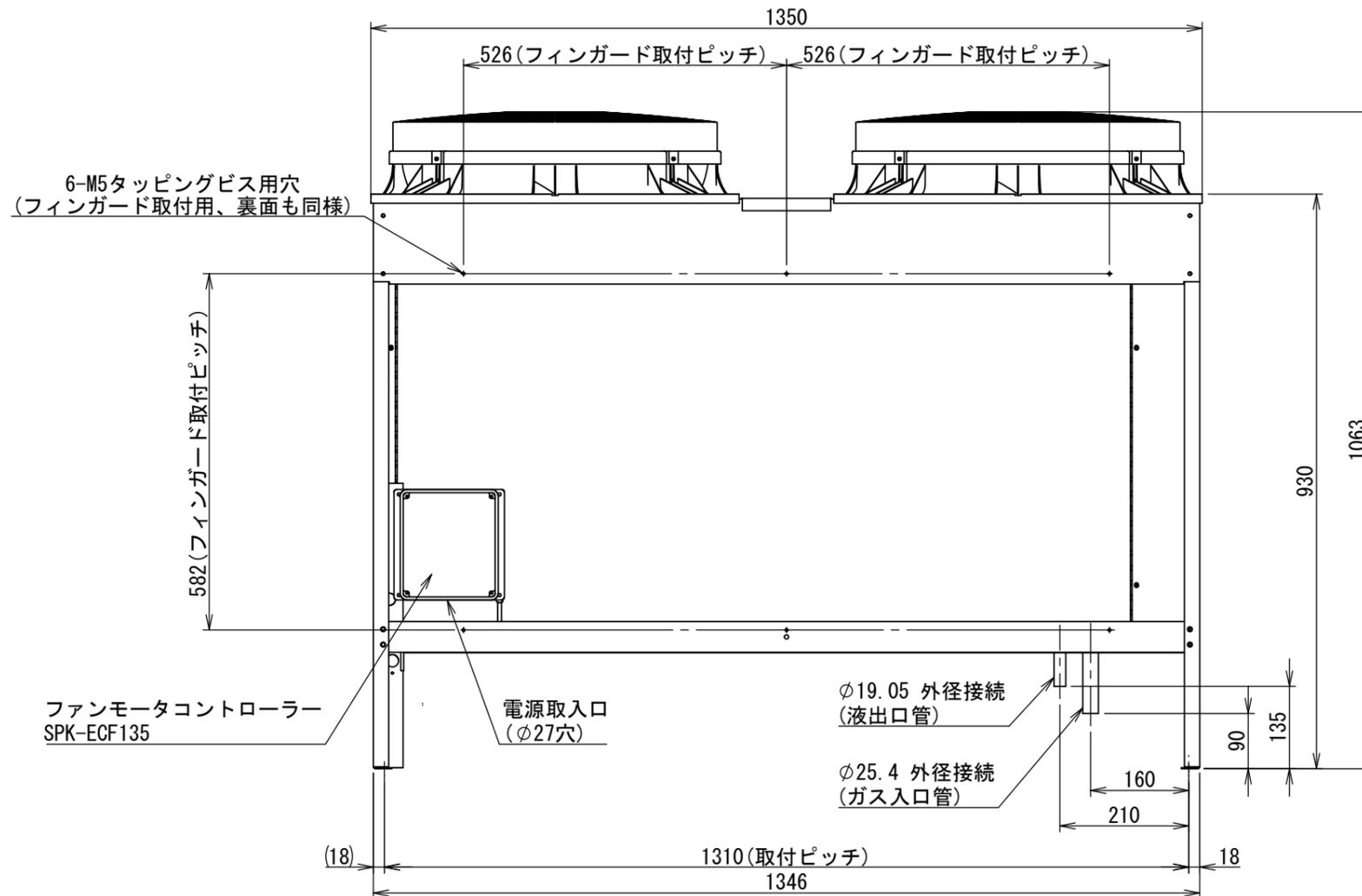


サービススペース

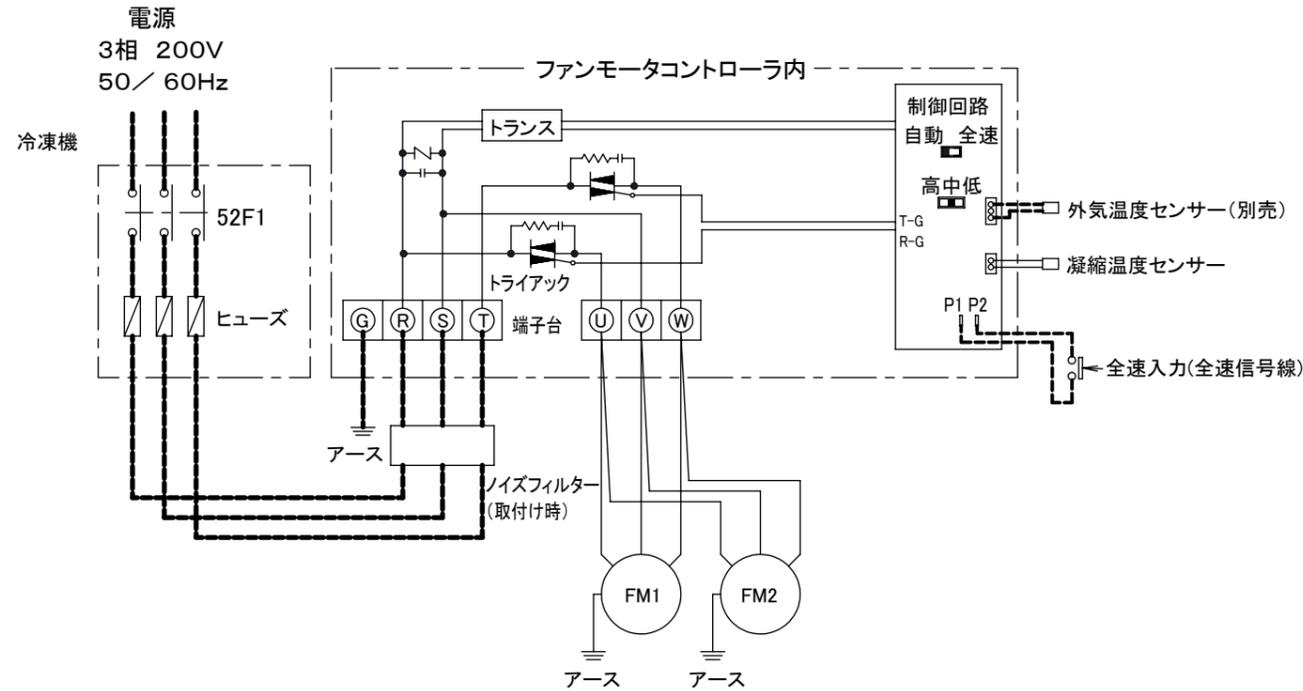
ファンモーター
コントローラー



⚠ 凝縮器フィンに手が触れるおそれがある場合は、フィンガード(オプション部品)を使用してください。



FIRST MODEL NAME		DATE		REVISIONS		R. NO.
TOLERANCES UNLESS OTHERWISE SPECIFIED		MATERIAL		PART CODE		
				3-D-5638-OMF		
		FINISH		NAME		
				GAIKANZU		



各スイッチの出荷設定と用途

スイッチ	用途及び設定							
	SW1							
SW1	1	2	3	4	5	6	7	8
	夜間低騒音モード用	高凝縮温度全速モード用	未使用	未使用	特性カーブ選択用	特性カーブ選択用	寒冷地モード用	検査プログラム用
設定は別記								
SW3	凝縮圧力設定用：出荷設定 — 中							
SW4	全速・自動運転切替用：出荷設定 — 自動							

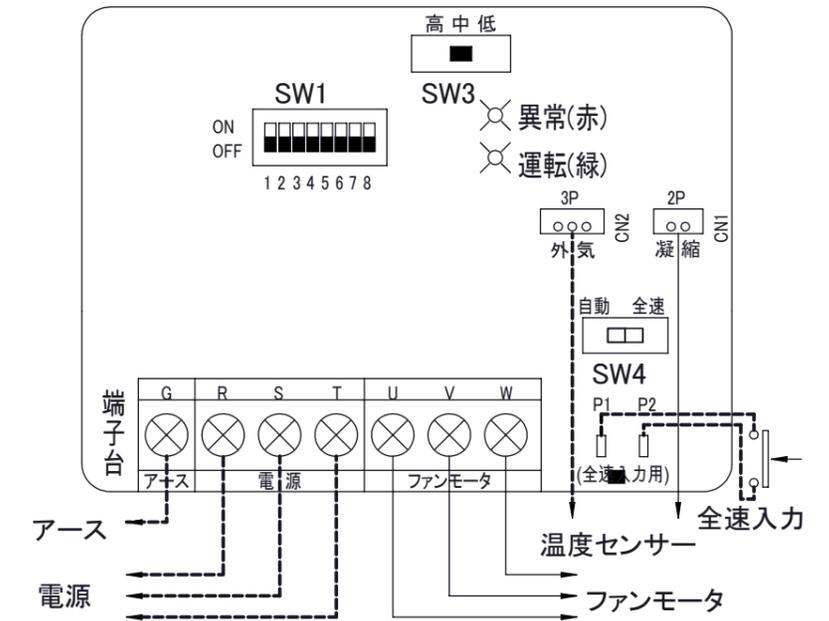
ファンモータコントローラ型式 SPK-ECF***	SW1							
	1	2	3	4	5	6	7	8
135	155	OFF						
145		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF

＜ご注意＞

- 配線
 - 電源とファンモータの接続は、配線図に従ってください。
 - ファンモータの回転方向の確認
 - * 回転方向が指定方向(左回転)通りであること。外気温が低い場合は(凝縮温度が約18°C以下)ファンが回転するまでに数分かかる場合があります。
 - * 逆回転の場合は電源を切り、電源線の2線を入れ替えてください。
 - 各種設定について(通常操作する必要は有りません)
 - 凝縮圧力設定スイッチ(SW3) — ”中”にて出荷
 - 高：低騒音運転、ヒートリクレーム運転等
 - 中：標準的な運転(凝縮圧力、騒音)
 - 低：省エネ運転(騒音は高くなる)
 - 夜間低騒音モード(SW1-1) — OFFにて出荷
 - このスイッチをONすると、気温が25°Cから30°C(熱帯夜等)の時、低騒音運転します。(但し、凝縮圧力設定が、中・低モードに設定時)
 - 高凝縮温度全速モード(SW1-2) — OFFにて出荷
 - このスイッチをONすると、凝縮温度が約48°Cを超えると全速運転になります。(復帰温度：約41°C)
 - 全速-自動 切替スイッチ(SW4) — 自動にて出荷
 - サービス時等に全速スイッチをご利用ください。
 - 寒冷地モード(SW1-7) — OFFにて出荷
 - このスイッチをONすると低外気温(3°C以下)寒冷地用の特性カーブ運転になります。(凝縮温度：48°C全速 / 33°C停止)
 - ただし、寒冷地対応ファンコンキットSPK-ECF230(外気温センサー+高圧スイッチ：セットで別売)が必要です。
- 注：外気温センサーなしで、寒冷地モードを選択すると、2.5秒間隔で異常LEDが点滅し全速運転になります。

- 表示灯
 - 運転中：緑色ランプ点灯 (正常な制御状態にある場合、緑色ランプが点灯します)
 - 温度センサー異常時：赤色ランプ点滅 (2.5秒間隔は外気温温度、0.5秒間隔は凝縮温度)
 - (オープン、ショート)：赤色ランプ点灯 (外気温、凝縮温度の両センサー異常)
 - ただし、外気温センサー異常はSW1-1またはSW1-7がON時のみ表示します。
- 進相コンデンサの配線
 - 進相コンデンサを接続する場合は、ファンモータコントローラの1次側に接続してください。
 - 2次側(U, V, W端子)に接続するとトライアックが破壊します。
- 電波障害について
 - ユニット及び電源電線の近傍でラジオを受信した場合、雑音が出る場合があります。
 - 電源電線は金属管施工を推奨します。また金属管はラジオ受信地域より2m以上離してください。
 - または、ノイズフィルター(250V 10A)を配線図のように接続し、ファンコントローラ近傍に設置してください。なお、ノイズフィルターは防雨処理してください。
- ファンモータコントローラ故障時
 - 万一、ファンモータコントローラが故障した場合は、運転モード切替スイッチ(SW4)を”全速”にすると全速運転ができます。ただし、地絡状態では運転できません。
- 全速入力用端子(P1,P2)について
 - 圧力上昇時に閉となる接点(DC5V10mA定格)を接続すると、強制的に全速運転にすることができます。冷凍機に付属されている全速信号線を利用ください。
- 冷凍機内の52F1とヒューズの位置は機種により異なります。

スイッチ類配置図



⚠ この製品をご使用になる場合は、アース配線工事が必要です。

- 図面は実測しないでください
- この資料は、2019年12月現在のものです。

NC 曲線

MCF-K80NU(-SL)

条件：冷媒 R448A/R449A/R407H

周囲温度 32°C

凝縮温度 -

蒸発温度 -10°C

電圧 200V

—— 60Hz

- - - - 50Hz

マイク位置：1m×1m（正面中央）

